統計調査にご協力を 町統計調査員協議会総会

令和7年度桑折町統計調査員協議会総会が5月29日、役場で行われました。総会に先立ち、令和6年伊達郡統計協会統計功労者表彰を受賞した佐藤文雄さん（半田地区）に、髙橋町長が賞状と記念品を伝達し、その功績を称えました。

総会では、渡邉俊行会長が「町と連携し円滑な調査体制の構築に努め、各種調査に協力する」と挨拶。その後、決算報告や今年の事業（調査）内容などを確認し、今年度の調査体制がスタートしました。今年は、10月1日を基準日とする5年に一度の国勢調査が実施されます。調査実施の際は、統計調査へのご理解とご協力をお願いします。

1_髙橋町長から賞状を受け取る佐藤さん　2_国勢調査に向けて各地区の調査員約30人が出席しました

会田前教育長が叙勲を受けて 町へ寄附金を贈呈

前教育長の会田智康さんが、令和7年度春の叙勲「瑞双（教育功労）」を受章されました。受章を受け「これまでの感謝と今後の町教育の発展に少しでも役に立てれば」と、町に対して寄附金を贈呈されました。会田さんは、県内各学校の教員や校長を歴任し、会津教育事務所長、県保健福祉部自立支援総室健康教育担当課長などを経て、醸芳小学校長に就任。その後、町教育長を9年にわたり務め、町教育行政の進展に尽力されました。

▶6月9日に行われた寄附贈呈式で目録を手渡す会田さん（右）

フレイル予防を学ぶ オレンジカフェもんも

認知症について理解を深める「オレンジカフェもんも」が4月24日、いちい桑折店MOMOテラスで行われ、30人が参加しました。当日は、町社会福祉協議会の赤坂理恵さん（理学療法士）を講師に、フレイル予防の講話と予防体操を実践。カフェタイムでは、参加者同士、日ごろの悩みや意見交換などを行いました。▼認知症の人やその家族を支援する「チームオレンジこおり」のメンバー募集中（問健康福祉課☎582-1134）

▶フレイル予防について赤坂さんの講話を聞く参加者

Astemoリヴァーレ茨城 プロに教わるバレー教室

町内に事業所があるAstemo株式会社のバレーボールチーム「Astemoリヴァーレ茨城」によるバレー教室が5月27日、町民体育館で行われました。当日は、選手3人が講師を務め、醸芳中女子バレー部の皆さんに技術指導を行いました。生徒らは、間近で見るプロ選手のプレーに目を輝かせながら、熱心に選手らの話に耳を傾けていました。サイン会や記念撮影も行われ、憧れのプロ選手との交流を楽しみました。

▶プロ選手から技術指導を受ける生徒の皆さん

▶約10kgある1億円のレプリカの重さを体感する児童

税の大切さを実感 小学校租税教室

税金の大切さについて学ぶ租税教室が6月4日、半田醸芳小学校で行われました。町税務住民課職員が講師を務め、アニメやクイズなどを通して、6年生12人に税金の重要性を説明しました。職員が「児童1人あたり年間約92万円の税金が使われています」と紹介すると、児童らは「こんなに多くの税金が使われているとは知らなかった」と驚き、「みんなが幸せに暮らすために、納税は大切だと思った」などと感想を発表しました。

みんなで確認 交通ルールとマナー 佐川急便交通安全教室

町と「地域創生に関する包括連携協定」を締結している佐川急便株式会社による交通安全教室が6月5日、こおり青空こども園で行われました。当日は、同社スタッフが信号機やトラックの模型を使用しながら、交通ルールのクイズを出題。信号の色や車のウィンカーの意味などを確認しました。横断歩道を渡る練習では、左右を確認し大きく手をあげて渡る動作を一人一人が実演。また、園駐車場に停められた佐川急便のトラック周辺を歩き、ドライバーの死角となる位置を確認するなど、命を守るためのルールやマナーを学習し、交通安全の意識向上を図りました。

1_トラックの模型のウィンカーを確認し、どちらに曲がるかを当てる園児ら　2_しっかりと手をあげ横断歩道を渡ります